

ヘッドライト:点検

- ◆ ヘッドライトの調整の点検 [参照箇所](#)
- ◆ ガス ディスチャージ ヘッドライトの基本調整の実行 [参照箇所](#)
- ◆ ヘッドライトの調整 [参照箇所](#)
- ◆ フォグライト及び他の補助ライトの調整 [参照箇所](#)

ヘッドライトの調整の点検

必要なスペシャル ツール、ワークショップ機器、テスター、測定機器及び補助装置

- ◆ ヘッドライト エイマー -VAS 5046- または
- ◆ ヘッドライト エイマー -VAS 5047-

点検及び調整条件:

- ◆ タイヤの空気圧が規定通りであること。
- ◆ レンズに損傷や汚れがないこと。
- ◆ リフレクター及びバルブが正常であること。
- ◆ 車両が積載状態であること。

車両を数メートル動かすか、フロント スプリング及びリヤ スプリングを数回バウンドさせてスプリングを落ち着かせる。

- ◆ 車両とヘッドライト エイマーが水平であること。
 - ◆ 車両とヘッドライト エイマーを同一線上に位置合わせする。
 - ◆ 光軸(ビーム)角度をセットする。
- ヘッドライト エイマーの取扱説明書を参照すること。

ビーム角度はヘッドライト上のトリムに“%” で表示してある。ヘッドライトはこの数値に従って調整すること。表示してあるパーセント数値はビームの照射位置 10 m に対してのものである。例えば、ビーム角度1.0%は約10 cmに相当する。

マニュアル制御のヘッドライト レンジ コントロール付きハロゲン ヘッドライト:

- ◆ ヘッドライト レンジ コントロール用サム ホイールを基本調整-0-にする。

積載状態: 運転席に一名乗車または75kgの積載がある状態で、その他は非積載とする(空車状態)。

空車状態とは通常携帯する全ての装備品(スペア タイヤ、ツール、ジャッキ、消火器等)の重量を含み、燃料タンクに燃料が満タンあるいはほぼ満タン(90%以上)で走行可能な状態である。

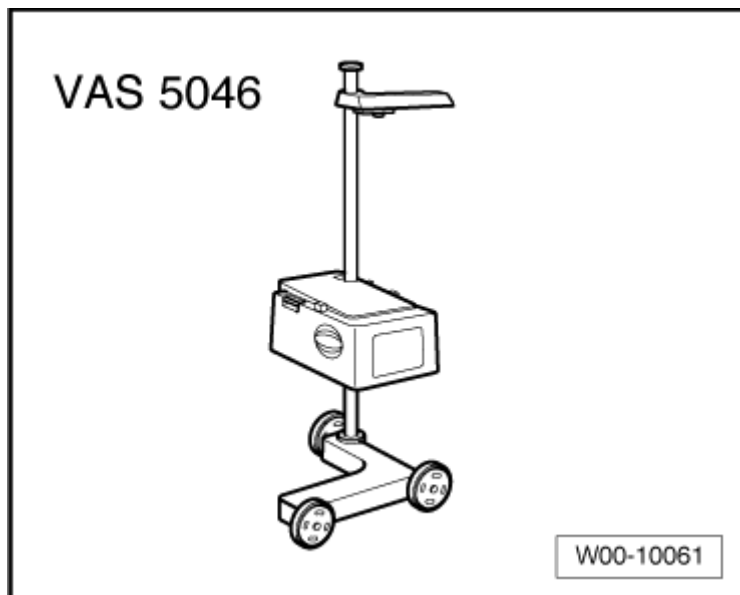
燃料タンクの燃料の量が90%未満の場合、以下の要領で負荷を追加する:

- フューエル ゲージで燃料の量を読み取る。以下の表に従って該当重量をラゲージ ルームに追加する。

表

フューエル ゲージ	追加重量 (kg)
1/4	30
1/2	20
3/4	10
満タン	0

例:



ヘッドライト:点検

燃料の量が1/2の場合、ラゲージ ルームに20kgの重量を追加する。

i 注!

追加重量は燃料用の缶に水を入れると良い(5L入り缶に水を満たせば約5kgになる)。

ガス ディスチャージ ヘッドライト:

i 注!

ガス ディスチャージ ヘッドライトの調整を行う前に、車両診断・点検・情報システム -VAS 5051- または車両診断・情報システム -VAS 5052- を使用してフォルトメモリーを呼び出し、消去し、ヘッドライト レンジ コントロールの基本調整を行う。

参照箇所

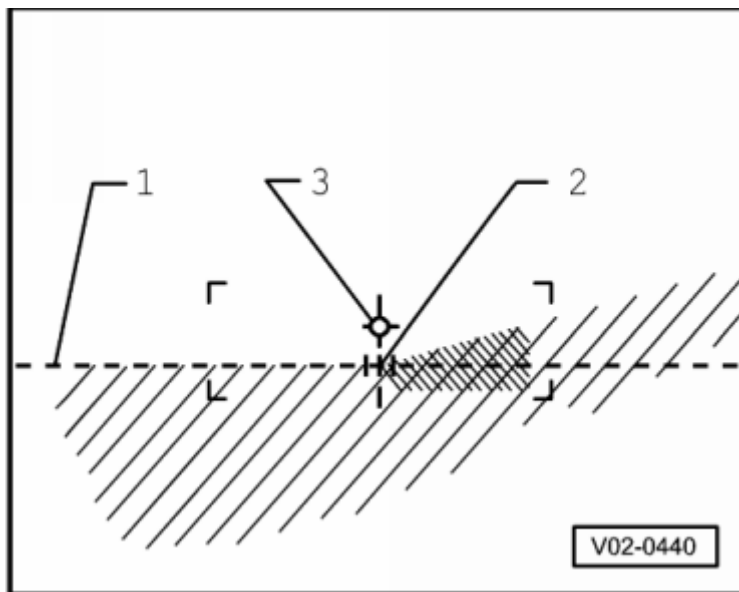
ヘッドライトの調整の点検

以下の点検を行う:

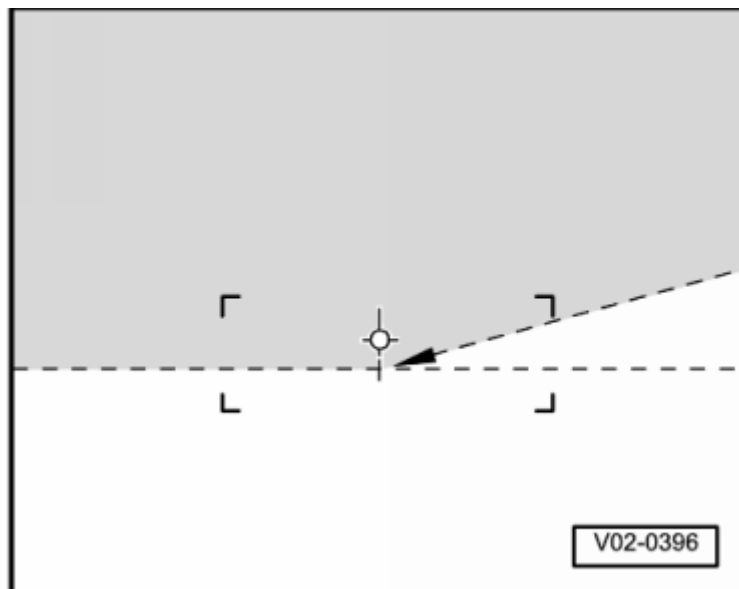
- ヘッドライトをロー ビームにセットした時、水平部分の明暗境界がテストスクリーンのセッティングライン-1- に接触しているか。
- 明暗境界の左側の水平部分と右上がりの部分の接点(照射点)-2- がセンター ポイント-3- の垂直線上にあるか。また、光軸の明るい部分が垂直線の右側にあること。

i 注!

- ◆ 照射点-2- を簡単に求めるため、ヘッドライトの左半分(走行方向に対して)を交互に覆ったり、開けたりする。その後、再びロービームを点検する。
- ◆ ロービームの調整後、ハイビームの光軸中心がセンターポイント-3- の上側にあることを確認する。



- ◆ 15°セッティングライン付きの旧型テストスクリーンを使用する場合も、新型テストスクリーンの場合と同様に調整する。ただし、誤調整を避けるため、15°セッティングラインは無視する。



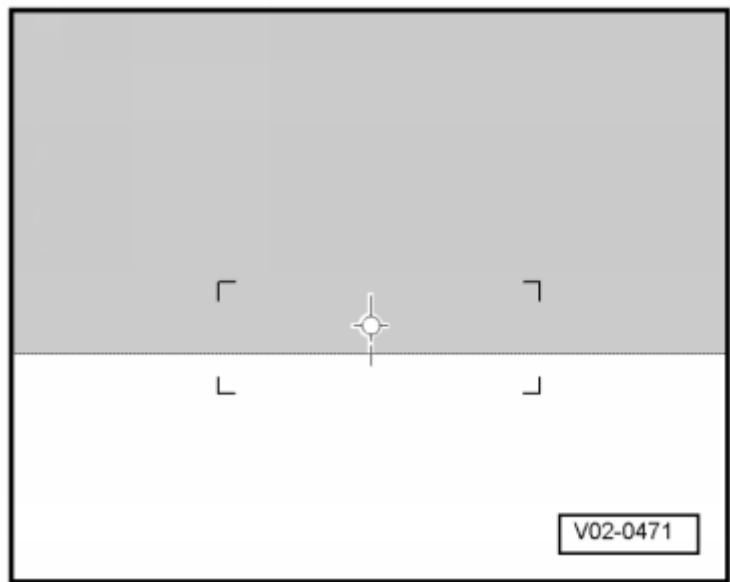
フォグライトの調整の点検:

- 上部の明暗境界線がテストスクリーンの全域にわたって水平にセッティングラインに接しているか点検する。

他の補助ライト:

後付けで補助灯を装着した場合は、それぞれのガイドラインにそって点検、調整を行う。

ガス ディスチャージ ヘッドライトの基本調整の実行



- 診断テスターを接続する。 **参照箇所**
- イグニッション スイッチをオンにする。
- “故障診断ガイド” を選択する。

車両データを入力する:全てのコントロール ユニットが呼び出される。

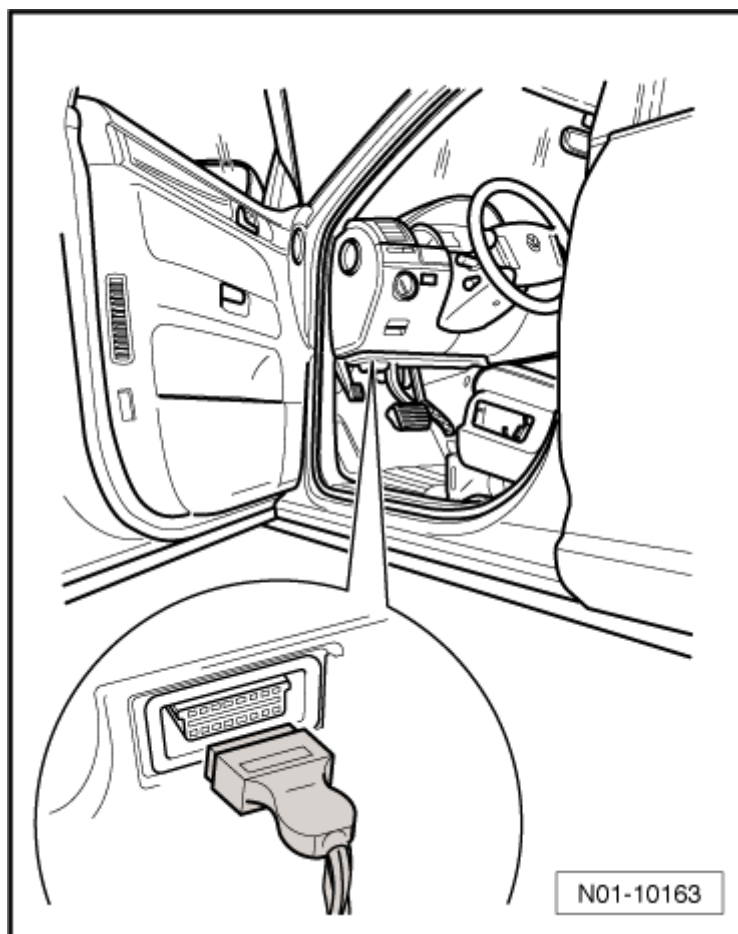
- 以下の選択を順に行う:
 - ◆ 次へ
 - ◆ 機能/部品選択
 - ◆ ボディ
 - ◆ エレクトリカル システム
 - ◆ 01-自己診断機能
 - ◆ 55-ヘッドライト レンジ コントロール
 - ◆ J431-ヘッドライト レンジ コントロール用コントロール ユニット、機能
 - ◆ J431-ヘッドライト レンジ コントロール用コントロール ユニット、基本調整
 - ◆ ボタンを押す。
- ディスプレイの指示に従って、以下のメッセージが表示されるまで選択、入力確認を行う:

J431-ヘッドライト レンジ コントロール用コントロール ユニット、基本調整

- ◆ ボタンを押す。
- ディスプレイの指示に従って、以下のメッセージが表示されるまで選択、入力確認を行う:

J431-ヘッドライト レンジ コントロール用コントロール ユニット、基本調整

- ディスプレイの指示に従う。
- ヘッドライトのセッティングを点検し、必要であれば調整する。
- ヘッドライト レンジ コントロール用コントロール ユニット(J431)の基本調整を終了する。



i 注!

マニュアル制御ヘッドライト レンジ コントロールを作動させた時に、左右のヘッドライトのリフレクターの動きが同じであることを確認す

ヘッドライト:点検

る。

- ヘッドライトの調整 [参照箇所](#)

ヘッドライトの調整

- ◆ ガス ディスチャージ ヘッドライトの概要 [参照箇所](#)
- ◆ 左ヘッドライトの調整(Golf 2004年以降) [参照箇所](#)
- ◆ 左ヘッドライトの調整(Golf Plus 2005年以降) [参照箇所](#)

ガス ディスチャージ ヘッドライトの概要

ガス ディスチャージ ランプにはキセノン封入バルブが使用されている。

そのため、ガス ディスチャージ ヘッドライトはキセノン ヘッドライトとも呼ばれる。

ガス ディスチャージ ヘッドライトにはバージョンがある：

- ◆ “キセノン” ヘッドライト

“キセノン” ヘッドライトは、“1つの” ガス ディスチャージ ランプがロー ビーム用に使用されていることを意味する。

“キセノン” ヘッドライトには“追加ハイ ビーム” が装備されている。

- ◆ “バイキセノン” ヘッドライト

“バイキセノン” ヘッドライトは、“1つの” ガス ディスチャージ ランプがハイ ビームとロー ビーム用に使用されていることを意味する。

そのため、“バイキセノン” ヘッドライトでは、ハイ ビームはロー ビームの調整によって自動的に調整される。

“バイキセノン ライティング システム” には常にヘッドライト レンジ コントロール及びヘッドライト ウォッシャー システムが装備されている。

- ◆ AFS ヘッドライト システム

AFS システムは、ヘッドライト、ガス ディスチャージ ランプ及びスタティック コーナリング ライト付きライティング システムである。

i 注!

- ◆ コーナリング ライト(スタティック コーナリング ライト)装備車は、ターンシグナル-1- とロー ビーム モジュール-3- 間のリフレクター-矢印- で識別できる。
- ◆ スタティック コーナリング ライトの作動は常にロー ビームとの連動である。

AFS はAdaptive Front Lighting System(アダプティブ フロント ライティング システム)の略である。

ガス ディスチャージ ランプ及びコーナリング ライト付きヘッドライトには“追加ハイ ビーム” の取り付けはない。

そのため、“AFS ヘッドライト システム” では、ハイ ビームはロー ビームの調整によって自動的に調整される。

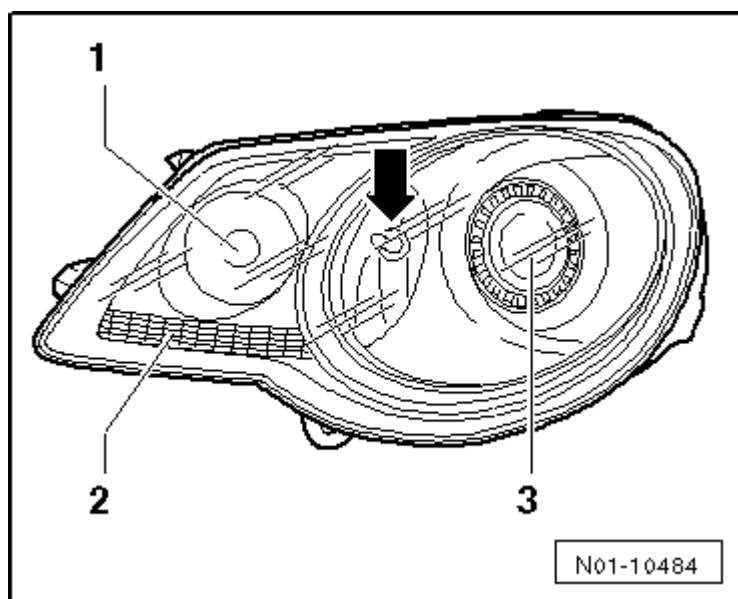
i 注!

ガス ディスチャージ ヘッドライトを調整する前に、診断テスターによって基本調整を行う。 [参照箇所](#)

左ヘッドライトの調整(Golf 2004年以降)

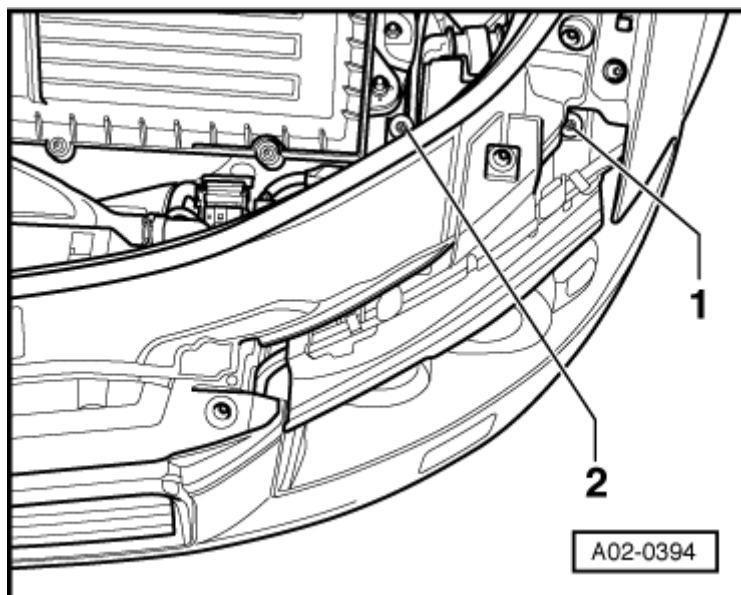
右側ヘッドライトの調整スクリューは左右対称位置にある。

- ◆ まず、調整スクリュー-1- でロー ビーム及びハイ ビームの高さをテストスクリーンの明暗境界部分に調整する。
- ◆ 次に、調整スクリュー-2- でロー ビーム及びハイ ビームの横方向



ヘッドライト:点検

をテストスクリーンの明暗境界部分に調整する。



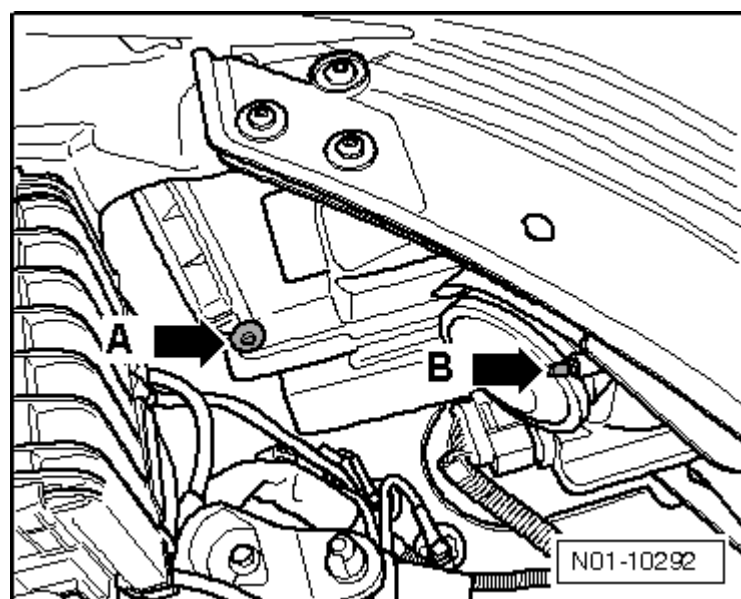
左ヘッドライトの調整(Golf Plus 2005年以降)

右側ヘッドライトの調整スクリューは左右対称位置にある。

- ◆ まず、調整スクリュー-A- でロー ビーム及びハイ ビームの高さをテストスクリーンの明暗境界部分に調整する。
- ◆ 次に、調整スクリュー-B- でロー ビーム及びハイ ビームの横方向をテストスクリーンの明暗境界部分に調整する。

フォグライト及び他の補助ライトの調整

- ◆ ヘッドライト内フォグライト [参照箇所](#)
- ◆ 右バンパー内フォグライト(Golf 2004年以降) [参照箇所](#)
- ◆ 右バンパー内フォグライト(Golf GT) [参照箇所](#)
- ◆ 右バンパー内フォグライト(Golf GTI) [参照箇所](#)
- ◆ 左バンパー内フォグライト(Golf Plus 2005年以降) [参照箇所](#)
- ◆ 他の補助ライト [参照箇所](#)



ヘッドライト内フォグライト



注!

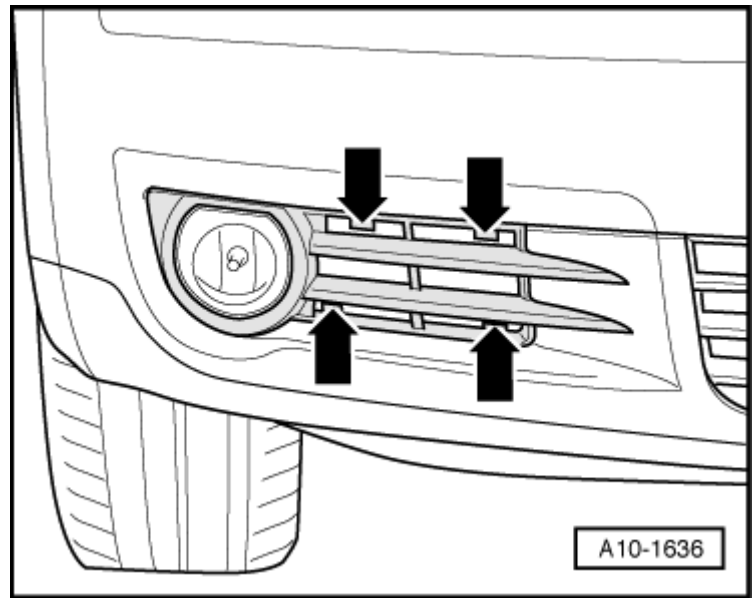
ヘッドライトを調整すると、フォグライトも同時に調整される。

右バンパー内フォグライト(Golf 2004年以降)

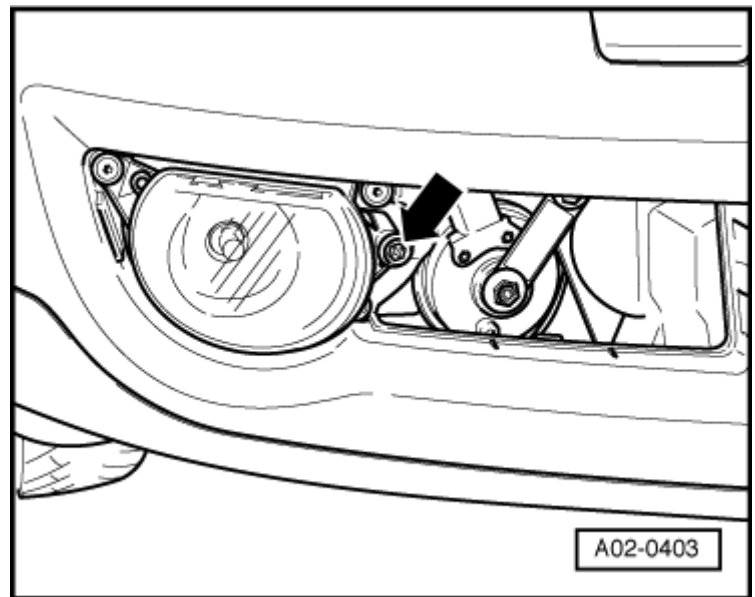
左フォグライトの調整スクリューの位置は右フォグライトと左右対称位置になる。

ビーム レンジ:

- ◆ フォグライト20cm
- リテイニング ラグ-矢印- を外し、バンパー下側からカバーを外す。



- 調整スクリュー-矢印-を回して、レンジを調整する。



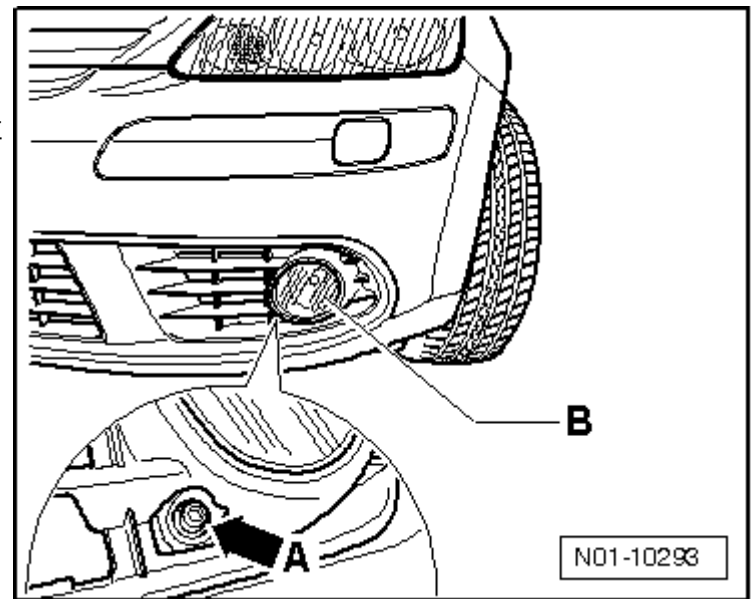
横方向の調整はできない。

右バンパー内フォグライト(Golf GT)

左フォグライトの調整スクリューの位置は右フォグライトと左右対称位置になる。

ビーム レンジ:

- ◆ フォグライト20cm

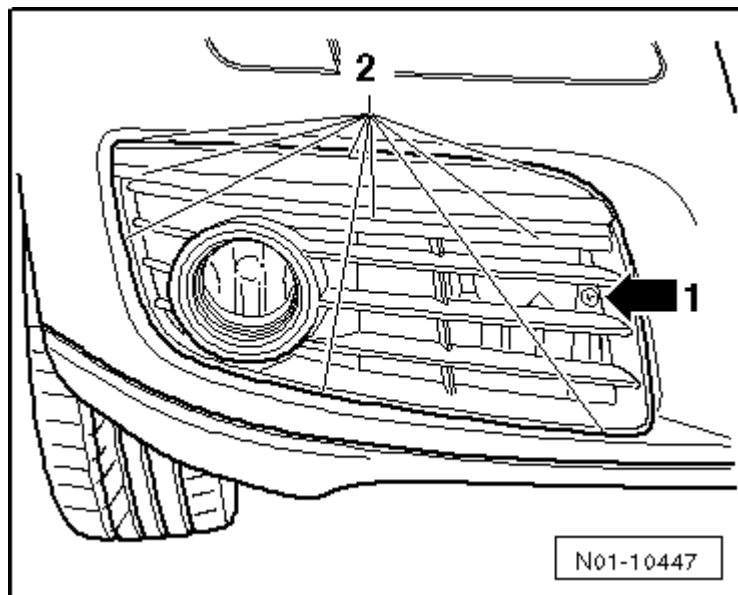


- ボルト -1- を外す。
- リテイニング ラグ-2- を外し、バンパー下側からカバーを外す。

注!
リテイニング ラグが非常に固い場合があるので、カバーを慎重に引

ヘッドライト:点検

いて、リテイニング ラグの破損を防ぐ。



調整スクリュー-矢印- を回して、レンズを調整する。

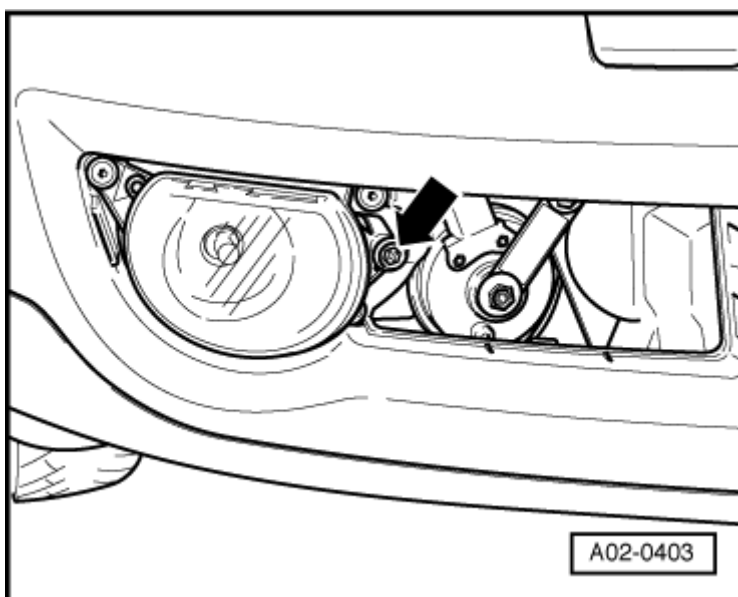
- 取り付けは、取り外しと逆の手順で実施する。

右バンパー内フォグライト(Golf GTI)

左フォグライトの調整スクリューの位置は右フォグライトと左右対称位置になる。

ビーム レンジ:

◆ フォグライト20cm



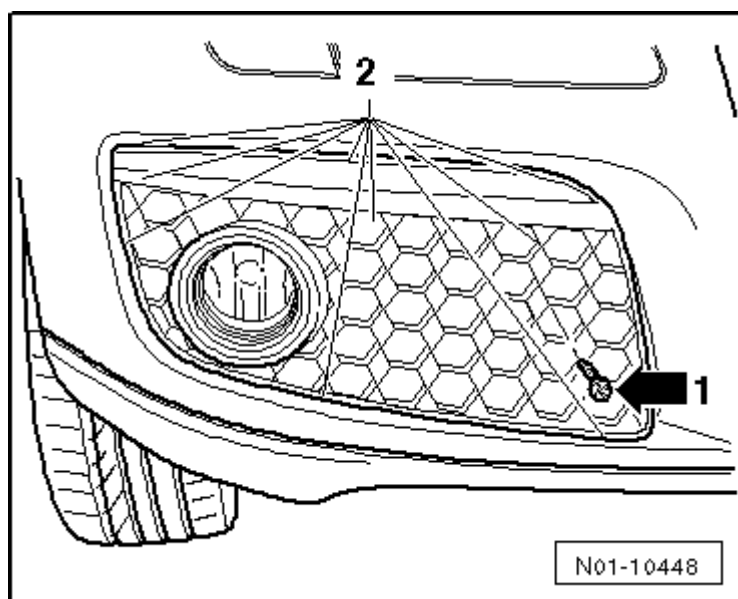
- ボルト -1- を外す。

- リテイニング ラグ-2- を外し、バンパー下側からカバーを外す。



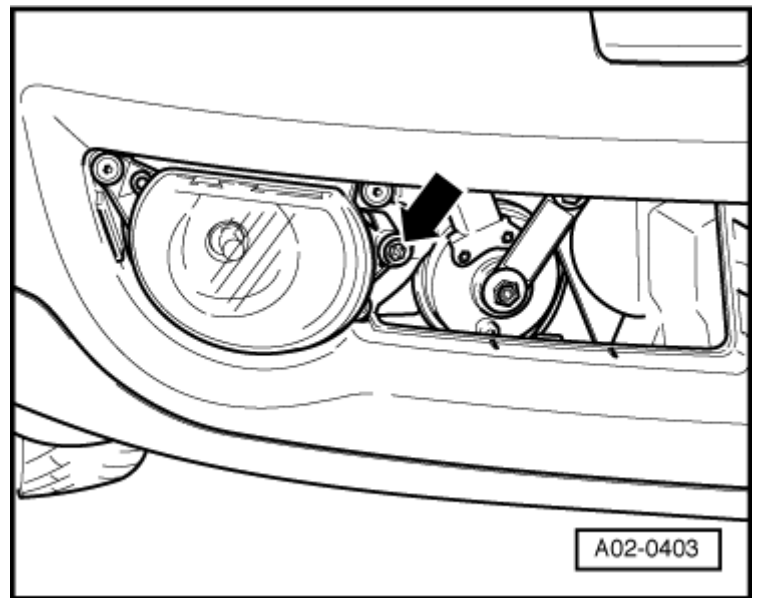
注!

リテイニング ラグが非常に固い場合があるので、カバーを慎重に引いて、リテイニング ラグの破損を防ぐ。



調整スクリュー-矢印- を回して、レンズを調整する。

- 取り付けは、取り外しと逆の手順で実施する。



左バンパー内フォグライト(Golf Plus 2005年以降)

- フォグライト-B- のレンズを調整するには、調整スクリュー-矢印A- を回す。

他の補助ライト

後付けで補助灯を装着した場合は、各ガイドラインにそって点検、調整を行う。

